



島高だより
令和6年11月号
(通巻第224号)
長崎県立島原高等学校
編集：教育企画部

校長室から 『修学旅行引率の思い出』 校長 渡崎次郎

「何かあった時のために、先生方は携帯電話を持って行ってください。」と、当時学年主任だった私は言った。待ちに待ったスキー研修の始まりである。1ヶ月前から長野県志賀高原横手山の積雪情報を調べ、学年黒板に記録してきた。てるてる坊主を逆さに吊し、降雪祈願の甲斐あって、真っ白い世界が私達を待っていてくれた。

体調不良の生徒が少なく、教員団も全員スキー研修に参加することができた。私達の中で最も上手だったのは、養護教諭の白〇先生であった。バタバタ倒れる私達の中を華麗に滑り抜けていくその姿は、本当に輝いて見えた。教員団にもインストラクターさんが付いてくださり、私達も滑ることができるようになっていった。研修開始から1時間。いよいよリフトに乗って、初心者コースまで行くことになった。リフトに乗るのも緊張した。高所恐怖症の増〇先生は大丈夫だろうか。そんな心配をしている余裕は全くなかった。自分のことで精一杯だった。リフトを降りる時はもっと大変だった。ほとんどの先生方がこけた。カメラマンさんがシャッターチャンスを狙っている。そんな中、団長の宮〇教頭がやって来た。「気を付けてくださいよー。」と言いながら、みんな笑う準備をしていた。腰を浮かして、「スー、コテッ。」となる予定だったが、宮〇教頭は降りてこなかった。いや、降りられなかったのである。「さようならー」と言い残し、笑顔で上級者コースへ行ってしまった宮〇教頭。その後、スキー板を担ぎ、1時間かけて雪山を歩いて降りてこられた宮〇教頭。「みんな冷たい。」と怒っておられた。それもそのはず、学年主任である私を含め、誰1人として携帯電話で宮〇教頭と連絡を取っていなかったのである。(実は、下りのリフトには乗れないことを、誰も知らなかったのである。当然、宮〇教頭も。)

何はともあれ、このスキー研修を通して、生徒はもちろん、教員団の絆も深まったことは間違いない。宮〇教頭本当にごめんなさい。そして、ありがとうございました。

島原高校の今年の修学旅行は台湾である。素敵な思い出がたくさんできることを楽しみにしている。

YES YES YES YES YES YES YES YES YES YES YES YES YES YES YES
YES 島高ジャージ 買っちゃいました♡ 長男だけど次郎 YES
YES YES YES YES YES YES YES YES YES YES YES YES YES YES YES



文理探究科1年 地学巡検



10月15日(火)、島原半島ジオパークの専門家、本校の理科担当の寺井先生に案内を頂きながら、地学巡検を実施しました。島原市・南島原市の様々な場所を周り、平成噴火の歴史や島原半島の成り立ちなどを知ることができました。

まず、千本木展望台や平成新山ネイチャーセンター、旧大野木場小学校では、目の前に広がる山々や地層、当時の映像などを見て平成噴火当時の災害がいかに甚大な被害であったかを学びました。その後は西有家の龍石海岸、南有馬町の向小屋、口之津町の早崎海岸、そして加津佐町津波見を周りまわりました。ここでは実際の地層をスケッチしたり、ハンマーを使って岩石を採取したりすることで、島原半島の岩石の特徴や成り立ちを学ぶことができました。

生徒の感想にも、「地層や岩石からたくさんのお話が知れるので最高の教科書だと気づいた」、「今日学んだことをたくさんの人たちにも伝えたい」など、地域資源の豊かさを学んだ様子が伺えました。(教育企画部)



島高青楓塾 心に響く人生の達人セミナー

11月15日(金)、佐々木慧さん(本校58回生・理数科1回生)に「建築家として生きる」と題して、講演していただきました。第一線で活躍されている佐々木さんの講演は、生徒たちにとって社会的視野が広がる貴重な機会になりました。ご自身の経験をもとに、これまでの人生の中でいかに考え、判断し、行動したかのお話は、生徒たちの今後の人生に大きな示唆を与えたものと思います。「好きなことを大切にする」、「今を大事に生きる」、「失敗を取りに行く」など、佐々木さんがおっしゃった言葉が、生徒一人ひとりの心に響いたものと確信しています。講演会後は、パネルディスカッションを実施し、パネリストの生徒から多くの意見が出るなど、盛況のうちに終了しました。

【生徒感想】

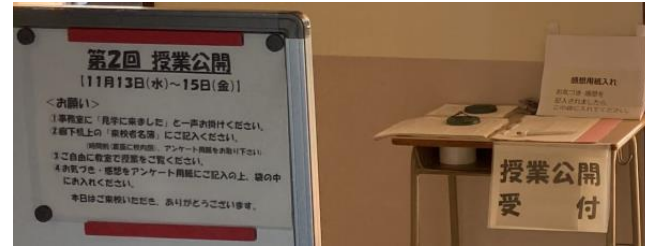
- 今回の講演会を通して、1日1日を大切に夢に向かって頑張りたいと思いました。
- 自分の表現したいものに、挑み作り上げていく先生の姿勢に格好良さや憧れを感じました。
- 講演を聞いて、将来、人生をかけて、誇りをもって働ける仕事に就きたいと思いました。
- パネルディスカッションは、同じ高校生の未来についての考え方など、普段知る機会があまりないことを聞くことができ、とても新鮮で興味深かったです。



第2回「授業公開」

11月13日(水)～15日(金)、生徒の姿や教職員の関わり方を見ていただき、本校の教育活動への理解を深めていただくことを目的に「授業公開」を実施しました。お忙しい中、3日間で16名の方々に来校していただき、9名の方から貴重なご意見をいただきました。

ありがとうございました。



新しい取組「わくわくタイム」のご紹介

今年度から毎週月曜日の15:35～16:15の時間帯に「わくわくタイム」が実施されています。「わくわくタイム」は生徒自身が、今 自分に必要と考えている事を主体的に行うために設けられている時間帯です。4月からこれまでの実施回数は、以下の通りです。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
回数	0	3	2	2	0	2	2	2	13

高総体や体育祭・文化祭、表彰伝達式、定期考査等の学校行事により毎週実施できている状況ではありませんが、これまでにClassiの学習トレーニング、探究活動、フィールドワーク、面接練習など生徒達は主体的に活動をしてきているように思います。特に、4～6月にかけてのClassiの学習トレーニングについては全国的にも取り上げられるほどの顕著な取り組みが見られています。引き続き、生徒達が月曜日の「わくわくタイム」で『〇〇をしよう♪』と考えられる時間にするために、島原高校全体で効果的な運用を考えていきたいと思ひます。

2年 修学旅行予告

令和6年度2学年の修学旅行は台湾へ3泊4日で行ってきます。
 出発は12/2(A団:5・6組)と12/3(B団:1～4組)。



多くの生徒が初めての国外旅行となる中、パスポートの入手や外貨の両替、地下鉄を利用したの台北市内自主研修の計画、服装(私服)や荷物の選択、入国申請やパスポートの登録など旅行の準備を完了させてきました。不安を感じている生徒もいるのかな?と、心配していましたが、こちらの想像以上に楽しみにしてくれているようです。日本とは異なる文化、雰囲気、匂いに触れ、受容してほしいと考えています。

保護者様へはclassiを利用して画像とともに現地の様子をお伝えするように計画しています。帰国後にはぜひ、子どもたちの話を聞いていただけたらと思います。保護者様には朝早くから夜遅くの送迎までお手数をおかけしますがよろしくお祈りします。

自転車のルール改正について

令和6年11月以降、道路交通法改正により自転車の罰則が強化されますのでお知らせいたします。(生徒支援部)

自転車「ながらスマホ」禁止

令和6年(2024年)11月から、自転車運転中、停止している間を除いて、スマホで通話したり、画面を注視したりする「ながらスマホ」が道路交通法により禁止され、罰則が強化されます。なお、スマホを手で持って画面を注視することはもちろん、自転車に取り付けたスマホの画面を注視することも禁止されます。

禁止事項

- ・自転車運転中にスマホで通話する
- ・自転車運転中にスマホに表示された画面を注視する
- ・傘さし運転
- ・イヤホンやヘッドフォンを使用するなどしての運転
- ・並進運転

罰則内容

- ・自転車運転中に「ながらスマホ」をした(6か月以下の懲役又は10万円以下の罰金)
- ・自転車運転中の「ながらスマホ」により交通事故を起こすなど交通の危険を生じさせた(1年以下の懲役又は30万円以下の罰金)
- ・傘さし運転(5万円以下の罰金等)
- ・イヤホンやヘッドフォンを使用するなどして安全な運転に必要な音又は声が聞こえない状態での運転(5万円以下の罰金)
- ・2人乗り(5万円以下の罰金)(都道府県公安委員会規則の規定で認められている場合を除く)
- ・並進運転(2万円以下の罰金又は料料)(「並進可」の標識があるところを除く。)



12月の主な行事予定

2日(月)～6日(金) 修学旅行(2年)	19日(木) マラソン大会
7日(土)～8日(日) 共通テストプレ(3年)	24日(火) 2学期終業式
9日(月) テスト返却日(2年)	25日(水)～26日(木) 冬季補習(3年)
11日(水) 薬物乱用防止講話	27日(金)～28日(土) 共通テストプレ(3年)
14日(土) 県下一斉実力テスト(1・2年) 土曜講座(3年)	1月8日(水) 3学期始業式